

確認してください 災害ごみの出し方

一日頃の備えが大切です

資源循環課資源循環推進係 ☎ (64)3241

災害が発生した後、片付けなどを行った際に出るごみが「災害ごみ」です。「災害ごみ」を速やかに処理することが、その後の復旧・復興への大きな一歩になります。そのためにも、いざという時に備え、災害が起こっていない時から「災害ごみ」について考えることが大切です。今回は、災害が起こった時の分別から処理の流れを紹介します。

“災害ごみ”って何だろう

“災害ごみ”とは、災害が発生した後、片付けなどを行った際に出るごみのことをいい、汚れた衣類や壊れた家具などがあげられます。

“災害ごみ”は、普段のごみとは分別の仕方が異なり、いつも以上に手間がかかります。

普段から備える

処理に手間がかかる“災害ごみ”。普段から次のことを心がけておくと、いざという時に処理もスムーズになります。

1. 家などにあっても使わないなど、不要なものは処分しておく。
2. ごみの分別を心がける。
3. 災害時のごみ処理の流れを把握する。 など

もしも
災害が起こったら…

処理の流れ

① 災害の発生



② 自宅の片付け、分別



③ 仮置場まで運搬



④ 種類ごとに降ろす



point 01

生活ごみと災害ごみは 分別しましょう

まとめて捨てたほうが早く片付けられそうですが、収集に時間がかかってしまいます。生活ごみの中には、生ごみが多く含まれているため、処理が遅れると悪臭や害虫発生の原因になります。



point 02

災害ごみを 分別しましょう

分別していないごみを仮置場に運んでも、そのままの状態では処理ができません。

災害ごみも分別することで、処理時間が短くなります。

●災害ごみの分別例

- ・燃えるごみ
(布団・プラスチック・衣類)
- ・燃えないごみ
(割れた食器、ガラス・金属類)
- ・家具 ・壊れた家電 ・畳

point 03

生活ごみはごみステーションに 災害ごみは仮置場へ

災害ごみは、通常では処理ができないものなどが多く含まれます。そのため、被害が大きい場合、ごみステーションとは別に、災害ごみの「仮置場」を設置します。

※詳細は市ホームページや公式SNS、自治会等を通じて周知します。

※生活ごみは、普段と同じようにごみステーションに出してください。生ごみを優先的に回収するため、燃やさないごみ、資源物などの収集は、一定期間行わない可能性があります。